

令和の寺子屋



techgym

基礎知識なしでも、座学なしでプログラミングに専念できるように設計された
「プログラミングカリキュラム構築」と「フランチャイズスクール展開事業」

テックジム株式会社

テックジムのミッション

どこに住んでいても
安価に最新のプログラミング技術を
学べる環境を提供する。

結果として

賃金格差

教育格差

地方格差

学歴格差

を無くす

テックジム各FCのゴール

**地域社会に
「プログラミング」の体験機会を与え
「コーチング」を通して、
優れたプログラマーを輩出**



**結果として
「IT城下町の一丁目一番地」
地元を代表するIT企業に成長する**

テックジムとは

- 月額2万円の定額制プログラミングスクール
- 授業なし。教科書なし。演習が中心の効率学習
- 「自走できるエンジニア」を生み出す仕組み
- 現場が「新米エンジニア」に求めるスキルを最速に
- コース：Python/機械学習/Rails/GAS/スマホアプリ

「プログラミング」ではなく「技術習得のコツ」を教える学校
原則として現役エンジニアがトレーナー

【実績】

- 2019年4月創業
- 累計受講生：1054名
- 無料講座「ゼロから始めるPython入門講座」：約2万人
- FC校舎は20校（開発会社・フリーランス等がオーナー）
- ルワンダでOEM展開（英訳教材）

創業者紹介

藤永端（ふじながただし）

早稲田大学第一文学部卒業

1999年：i-modeコンテンツ制作会社を創業。

2009年：スマホアプリ開発会社を創業。

2019年：テックジムを創業



業界歴20年でIT関連イベントを毎年50回以上実施

（テックジム初年度の関連イベントは120回）のべ3万人が参加。

1000名のITベンチャー起業家のネットワークを持つ。

全国展開をしているFC本部の経営者とも交流が深い。

採用企業との取り組み事例

【テックジム】（200時間/約3ヶ月）

- Python基礎コースを履修

「自力で習得できた」という成功体験

【採用企業】（約1ヶ月）

- 現場で使う技術要件（PHP/MYSQL等）での課題
→ 進捗報告/質問などを通じてスキル等をチェック

「2つ目の言語を習得」という成功体験

- 長期インターン（人間関係構築） → 正社員採用へ

「現場の仕事で通用する」という成功体験

エンジニア育成の考え方

【スクール期間】 書くが先、理解はあと。

- 授業動画や参考書など易きに流れるとコーディング力がつかない
- 現場までに学ぶべきこと：自己解決力、完遂力、質問力、エラー対処法

【インターン期間】 現場に慣れる

- HTML/CSS、データベースなど、知識&経験的なことを積み上げる
- 荒削りでも1日でも早く現場に行った方が良い

【プロフェッショナルまでの期間】 言語化できる、後輩に教えられる

- 賃金労働に慣れると、座学を怠り、その場凌ぎになりやすい
- オブジェクト指向の概念をきちんと理解する必要がある

**スクールと採用企業がタッグを組んで
エンジニアの成長を見守る必要がある。**

既存スクールの問題

- 高額（80万円程度）で、エンジニアになる確率が低い（20%）
- 広告表現でのミスリーディング（「転職して100万円アップ」）
- 分かり易さを求め、受動的。採用がゴールという姿勢
- 手厚いサポートで依存型人材を作ってしまう
- 膨大な知識を詰め込むカリキュラム
- コーディング量が圧倒的に少ない
- テックリード的な存在（コーチ）がない
- 結果として採用企業から疎まれている（採用率3%）
- 人材紹介業を兼ねていて利益相反になりやすい
- アルバイト期間がない正社員登用は企業側に負担が大きい

安価・自習型こそ正義

IT業界の問題

新卒エンジニア採用

- 説明会と数度の面接：ミスマッチは防げない
- 入社から3ヶ月研修で現場：圧倒的経験不足
- オブジェクト指向の理解には3年はかかる
- 伸び悩んだまま放置されている



テックジムで解決

- 採用目的スクールをOEM提供
- エントリー時からプログラミング教育
- 長期インターンで戦力化/エンゲージメント

移民問題もテックジムで解決

移民側の問題

- 特定技能人材は在留期限5年
- 日本語レベルが低くても活躍できる場が欲しい
- 学歴があっても低賃金労働



採用側メリット

- 勤労意欲が高く離職率が低い
- 開発現場を英語化、逆オフショア開発へ

地域展開にこだわる理由

今後のITビジネスは、IoTやAI、ブロックチェーンの社会実装という局面において、第1次産業、第2次産業、災害、観光、地域通貨など、主戦場は東京から各地方にシフトしていくと予想されます。

一方で各地方自治体からみれば、その地域にエンジニア人材がいれば、新しいビジネスを起こすことができるわけで、それが地方創生につながります。

テックジムは、

「好きな仕事を好きな場所でする」というエンジニアの夢を叶えるべく、各地域でテックジムの拠点を置くことにより、就転職や仕事の受発注などの機会を創出するエコシステムを作りたいと考えております。

「東京に行かなくては仕事や新しい情報が入らない」という常識が、非常識になる日を1日でも早くテックジムが実現します。

テックジムの設置コース

【初学者向け】

Python基礎コース

プログラミングの基礎を学びます。
200時間で就職スキルレベルに達することができます。

【現役エンジニア向け】

AIエンジニア養成コース

数学の素養がなくても取り組め、
現場に役立つテーマを揃えております。

【副業向け】

Ruby on Railsコース

クラウドソーシングサービスで、
よく見受けられるWEB開発案件を想定。
学んだことがすぐにお小遣いになります。

【業務改善向け】

Google Apps Scriptコース

日々のルーティンワークを自動化したり
業務効率をあげるツールを作ることを
目的としたコースです。

【2022年新設】 アプリ開発コース

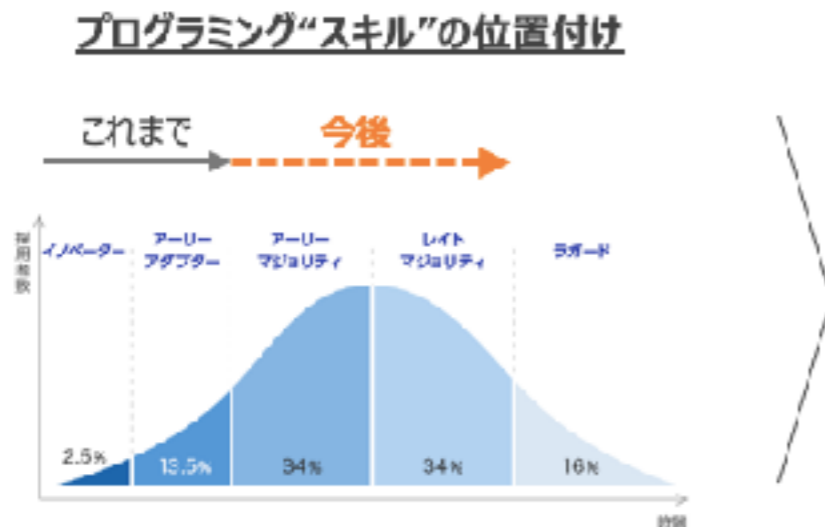
Swift、kotolin、flutter、unity。さまざまなニーズや用途に対応できる
スマホアプリのスペシャリストを目指していただきます。

コロナ禍前のプログラミング需要

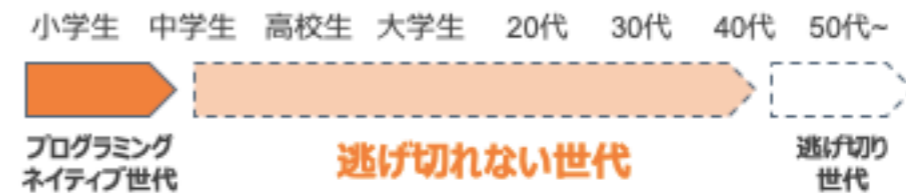
■Python講座に当初予想しなかった層が集まった

- エンジニアではないけどプログラミングを嗜んでおきたい
- なんとなくやってみたいシニア層
- 子供がやるので自分もやっておきたい親、先生
- 研究室でいきなり使うことになったという学生
- スクラッチでは物足りないという中学生 などなど。

→ 転職目的の方が10%未満だった。



焦り学習需要の発生

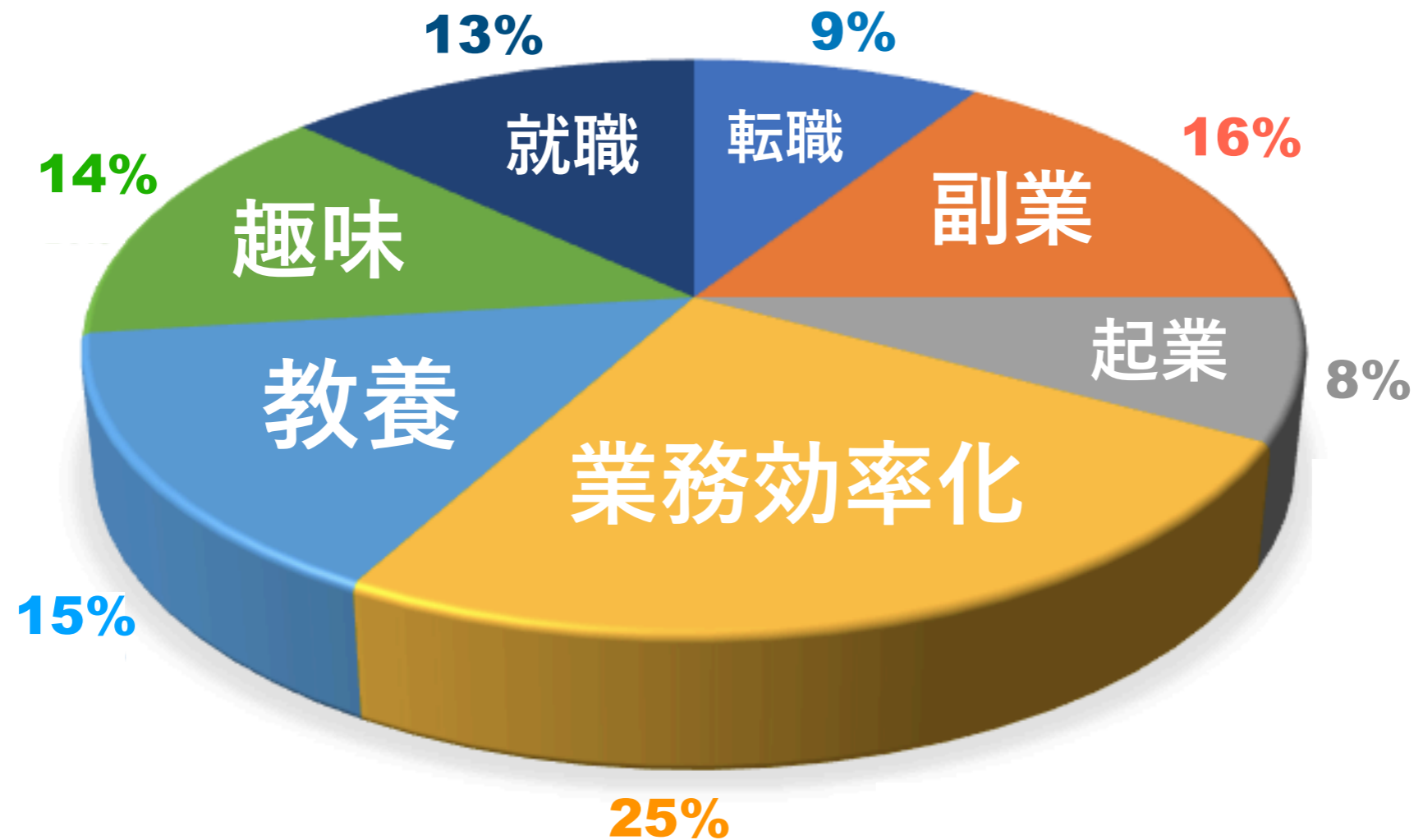


プログラミングスキルが必須教養化し
下からの突き上げが強まり、
学習機会を逃した世代の
キャッチアップ需要が増加

⇒近年の社会人の英語学習ブームに類似

**2019年は1年かけて50都市でPython講座開催。
結果、30校が開校。**

プログラミング学習の動機



※2022年4月集計

学習しているうちに目的は変化する

→フレキシブルに変更できるカリキュラムが求められている

プログラミングスクール 業界マップ

就転職向け



キッズ向け



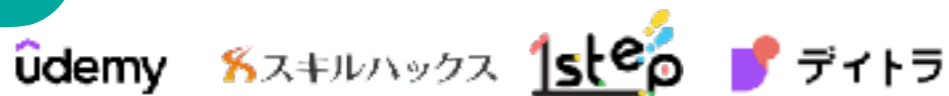
生涯学習



イベント



動画



マッチング



無料



エンジニア職の独占スキルだった
プログラミングをコモディティ化し
万人がITを活用できる社会へ



techgym